

学校研究において目指す子供の姿

| 研究主題    | 主体的に学びを生かそうとする児童の育成                                |
|---------|----------------------------------------------------|
| 目指す子供の姿 | 課題解決のために、主体的に学習したことを生かし、友達との対話を通して、考えを深めることができる子ども |



| 課題に対して | 単元でつづけたいい力を総合的に含み、児童の地域や生活に根ざした課題に対して、児童が解決の見通しを持ち、これまでの学びを主体的に生かしながら、自分の考えを持つ。 |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 高学年    | 課題解決の見通しを持ち、課題の中から必要な情報を整理し、主体的に学びを生かして、自分の考えをまとめる。                             |
| 中学年    | 課題解決の見通しを持ち、課題の中から必要な情報を見つけ、主体的に学びを生かして、自分の考えを持つ。                               |
| 低学年    | 課題の中から、必要な情報を見つけ、学んだことを生かして、自分の考えを持つ。                                           |
| たんぼば学級 | 生活に根ざした課題や児童の関心に沿った課題に対して、意欲的に取り組む。                                             |
| つくし学級  | 生活に根ざした課題や児童の関心に沿った課題に対して、課題解決の見通しを持ち、学びを生かして、自分の考えを持つ。                         |



| 対話のとらえ | 対話とは、目的意識を持ち、相手の立場を尊重しながら、考えをわかりやすく伝え合い、互いの考えの相違点とその理由について明らかにすること。 |
|--------|---------------------------------------------------------------------|
| 高学年    | 相手の立場を尊重しながら、考えをわかりやすく伝え合い、互いの考えの相違点とその理由について明らかにすること。              |
| 中学年    | 考えを伝え合い、考えの共通点や相違点に気づくこと。                                           |
| 低学年    | 自分の思いや考えを伝え合うこと。                                                    |
| たんぼば学級 | 教師や友だちの話に興味を持って聞き、相手の考えを受け取りながら話すこと。                                |
| つくし学級  | 教師や友だちの話に興味を持ち、自分の考えを伝えること。                                         |



| 考えの深まりのとらえ | 考えの深まりとは、自分では気づかなかった考えと出会うことによつて、思考が整理・統合され、より良い考え方ができるように変容すること。そして、その変容を子どもも自身が実感していること。 |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 高学年        | 自分では気づかなかった考えと出会うことによつて、思考を再構築し、より良い考え方ができるように変容すること。                                      |
| 中学年        | 友だちの考えと似ている点や違う点に気づき、考えを整理して、より良い考えができるように変容すること。                                          |
| 低学年        | 友だちの考えを聞いて、他の考え方を知り、自分の考えをより良くまとめることができること。                                                |
| たんぼば学級     | 活動の感想を伝え合い、さらに取り組みたいことを教師や友だちと共に考えることができること。                                               |
| つくし学級      | 活動を振り返り、自分の良さに気づくとともに、他者の考えの良さも受け止めることができること。                                              |

7 平成31年度 学校研究推進計画

| 月  | 日  | 曜 | 内容                                              | 授業者               | 司会        | 記録       | 写真        |
|----|----|---|-------------------------------------------------|-------------------|-----------|----------|-----------|
| 4  | 3  | 水 | 第1回研究推進委員会<br>今年度の研究の方向性と重点<br>授業づくりの視点・指導案の書き方 |                   | 副研究<br>主任 |          |           |
| 4  | 24 | 水 | 第1回学校研究全体会<br>今年度の研究の方向性と重点<br>授業づくりの視点・指導案の書き方 |                   | 副研究<br>主任 |          |           |
| 5  | 15 | 水 | 事前研①                                            |                   |           |          |           |
| 5  | 17 | 金 | 森田智幸先生(山形大学大学院教育実践研究科准教授)講演会                    | 全学年通覧<br>4年 高橋    | 教務主任      | 研究<br>主任 | 副研究<br>主任 |
| 6  | 5  | 水 | 第1回校内授業研究会                                      | 2年 川内<br>4年 高橋    | 教務主任      | 菅原<br>岡部 | 信夫<br>尾形  |
| 8  | 28 | 水 | 事前研②                                            |                   |           |          |           |
| 9  | 18 | 水 | 第2回校内授業研究会                                      | 3年 菅原<br>6年 岡部    | 教務主任      | 信夫<br>尾形 | 松田<br>齋藤  |
| 10 | 16 | 木 | 八幡小外国語授業研究会                                     |                   |           |          |           |
| 10 | 23 | 水 | 事前研③                                            |                   |           |          |           |
| 11 | 13 | 水 | 第3回校内授業研究会                                      | 1年 信夫<br>5年 尾形    | 教務主任      | 松田<br>齋藤 | 川内<br>高橋  |
| 11 | 19 | 火 | 鳥海八幡学区授業研 鳥海小                                   |                   |           |          |           |
| 11 | 20 | 水 | 事前研④                                            |                   |           |          |           |
| 12 | 4  | 水 | 第4回校内授業研究会                                      | たんぼば 松田<br>つくし 齋藤 | 教務主任      | 川内<br>高橋 | 菅原<br>岡部  |
| 1  | 17 | 金 | 研究紀要原稿提出                                        |                   |           |          |           |
| 1  | 29 | 水 | 第2回学校研究全体会<br>校内授業研究会の成果と課題来年度の方向性              |                   | 副研究<br>主任 | 遠田       |           |
| 3  | 9  | 月 | 研究紀要完成・関係機関への送付                                 |                   | 研究主任      |          |           |

※研究通信は、記録になった人からデーターをもらい、それをもとに研究主任がまとめる。

8 授業研究への姿勢

- 子どもたちに力をつけるために、教師の学習指導力の向上が必要であり、共に学び合う姿勢に立つ。
- 子どもたちの実態を把握し、その変容をねらう質の高い授業を目指す。
- 一人ひとりの子どもの見取りを大切にし、「子どもの内面の質的変容」を中心にお互いの授業を参観し、成果や課題を明確にしていく。
- 年度の終わりに、校内授業研究会で行った授業の中から実践報告をまとめる。